

# 再生可能エネルギー等 導入推進基金事業について

平成29年3月10日

新潟市 環境部 環境政策課  
スマートエネルギー推進室

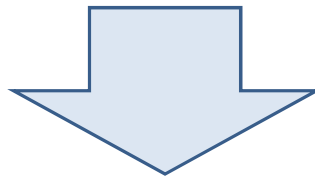
# 1 基金活用による整備状況について

## 基金事業の概要について

○平成24年7月に、国庫補助金 **3.5億円**の交付を受け、基金造成  
※新潟市では条例を作り、用途を指定している。同基金には市内メガソーラーへの土地貸付料（小平方，県競馬）も積み立てを行っている。  
（年額8,255,479円×20年）

○平成24年度から平成28年度の5年間で活用  
（国庫補助金交付要綱により）

○平成28年度が最終年度，国庫補助分の残額は翌年度に運用益分も含め国庫へ納付



基金の有効活用を図るように，予算を計上⇒基金の残額を入札後の金額が超えるように事業を設定

## H28年度分事業

導入設備	区	対象施設※	H28年度実施	備考
太陽光発電＋蓄電池 (10kW) (10kWh)	東	木戸小学校	工事	
	中央	新潟柳都中学校	〃	
	江南	亀田東小学校	〃	
	秋葉	新津第一中学校	〃	
	秋葉	金津中学校	〃	
	秋葉	小須戸中学校	〃	
ソーラーLED外灯 (約80Wのパネルと蓄電池を搭載)	市内	中央区を中心に8ヶ所	〃	
予算額 (総額)			139,212千円	
現時点での執行見込み額 (基金対象部分のみ) ①			127,936千円	
基金残高②			122,668千円	
①－②			5,268千円	

※他に基金対象事業として、スマエネ会議の運営費を充てている。

## 基金事業一覽（1）（太陽光発電＋蓄電池）

区	市施設			民間施設	備考
	施設名	施設数	避難可能人数		
北区	岡方中	1	1,030	特養1	
東区	下山小, 木戸小	2	3,462	特養1	
中央区	沼垂小, 烏屋野小, 万代高, 新潟柳都中	4	8,449	老健1	
江南区	亀田中, 亀田東小	2	3,811	特養1	
秋葉区	荻川小, 新津第一中 小須戸中, 金津小	4	6,609	特養1	
南区	根岸小	1	1,090	特養1	
西区	小針小, 大野小	2	3,450	特養2, 老健1	
西蒲区	中之口中, 岩室中	2	2,864	特養1	
計		18施設	30,765	10施設	

※赤字はH28年度整備

※避難可能人数は、新潟市地域防災計画より

# 基金事業(1)の配置図



● 公共施設 (太陽光+蓄電池)

● 民間施設 (特別養護老人ホーム等 太陽光+蓄電池)

## 基金事業一覧（２） （一時避難所等〔公園〕へのソーラーLED外灯）

区	公園名	備考
北	下大口公園	
東	太平公園，石山中央公園，石山第一公園，青葉公園	
中央	万代公園，太陽公園，信濃公園，愛宕公園，西大畑公園，東公園，桜が丘公園，日の出公園	
江南	しゅもく公園	
西蒲	上堰湯公園	広域避難所
計	15施設	

※中央区に偏りがあるが，周辺地域の人口等導入効果が高いと見込まれる場所を所管課（公園水辺課）と検討を行った結果である。

## 2 基金の状況について



## 国庫補助金分に係る基金状況 (H27.11月時点見込み)

単位：千円

年度	年度当初 残高	収入		支出		年度末 残高
		金額	内容	金額	内容	
H24	0	350,245	・国補助受入 ・運用益収入	1,826	H24事業費 取崩し	348,419
H25	348,419	313	運用益収入	60,337	H25事業費 取崩し	288,395
H26	288,395	272	運用益収入	77,271	H26事業費 取崩し	211,396
H27	211,396	198	運用益収入 (見込み)	88,926	H27事業費 取崩し	122,668
H28	122,668	30	運用益収入 (見込み)	127,974	H28事業費 取崩し(見込 み)	※△5,276

※年度末残高のマイナス分は次ページの市単独分で埋め合わせを行う

## 市単独分に係る基金状況（H29.2月時点見込み）

単位：千円

年度	年度当初 残高	収入		支出		年度末 残高
		金額	内容	金額	内容	
H24	0	0		0	－	0
H25	0	876	メガソーラー 土地貸付料相当 積立等	0	－	876
H26	876	8,303	〃	0	－	9,179
H27	9,179	8,314	〃	0	－	17,493
H28	17,493	8,314	〃	5,276	国庫補助分での 事業費不足分を 充当	20,531
H42	161,004	H29以降取り崩しを行わなかった場合の残高見込み				

基金の今後の活用先として、基金で整備した発電設備の蓄電池部分の更新（1基350万円程度）に充てる予定であるが、これ以外の部分は今後検討を行う。

# 3 設備の稼働状況について

## ○設備稼働について

設備については全体として順調に稼働を行っているが、一部施設において、稼働初期の逆潮流に関する設定の不具合によって未稼働の時期が発生した。

## ○発生した不具合の内容について

- ・不具合の発生施設  
岩室中学校（H27年度施工案件）

上記学校においては、RPR「逆電力継電器」を作動しないようにする制御の当初設定に不備があり、発電量が多くなると、RPRが作動してパワコンを停止させ、そのまま自動復帰しない設定となっていた。

RPR作動の原因究明及び設定変更に係る手続きに時間を要し、長期にわたり稼働が停止してしまっていた。

⇒現在は設定を変更し、正常に稼働している。

# 4 災害時における活用について

# 災害等による停電時におけるシステム活用について

## ○停電時を想定した使用について

- 災害時や防災訓練時において、太陽光発電及び蓄電池のシステムを避難所運営に携わる誰もが容易に使用できるように、各施設毎の簡易な設備活用マニュアルを作成した。（各施設の状況を鑑み作成）